

戦争遺跡調査報告会

(3回連続講座)

昨年、滋賀県に現存する戦争遺跡の数々を調査しました。その結果をスライドで紹介します。

第1回 12月17日(日)

「大津陸軍墓地が語る兵士のすがたー日清戦争期を中心にしてー」

講師 辻川 哲郎 氏(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)

大津陸軍墓地は、明治以来昭和45年にいたる間の大津連隊の戦死者・戦病死者等を葬った墓地です。残された多くの墓碑を手掛かりに、特に日清戦争期の兵士のすがたをたどってみます。

第2回 1月21日(日)

「滋賀県に残る日本陸海軍の施設 ー大津海軍航空隊ー」

講師 神保 忠宏 氏(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)

滋賀県内に残る日本陸海軍の施設のうち、比較的当時の施設が残る旧大津海軍航空隊について調査を行いました。その成果や残された資料、今も残る痕跡から当時のすがたの再現を試みます。

第3回 2月18日(日)

「滋賀県戦争遺跡の調査から」

講師 中井 均 氏(滋賀県立大学教授)

「米原機関車避難壕の測量調査」

講師 杉山 佳奈 氏(滋賀県立大学大学院生)

本年度、滋賀県平和祈念館の委託事業として、県内に残る戦争遺跡の分布調査を実施しました。滋賀県では八日市飛行場の掩体壕が有名ですが、今回の分布調査ではそれ以外にも多くの戦争遺跡の残されていることが明らかになりました。今回の講座ではそうした戦争遺跡を紹介したいと思います。また、米原市に残る機関車避難壕では学生による測量調査をおこないました。その成果も紹介します。

時間は各講座とも、13時30分～15時00分 2階研修室にて

会場:滋賀県平和祈念館(東近江市下中野町431番地)

お問い合わせは、滋賀県平和祈念館まで。

電話:0749-46-0300 ファックス:0749-46-0350

メール:heiwa@pref.shiga.lg.jp

- ・申し込みは不要です。
- ・参加費は無料です。
- ・各回ごとにご参加もいただけます。
- ・2階研修室にて行います。
- ・定員は80名です。